

日赤あおもり

No.
412
2025.冬号



青森県支部

日本赤十字社

日本赤十字社青森県支部 〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号 TEL 017-722-2011 <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>



AFB Fan Meeting 2025にブース出展!!

10月4日・5日の2日間、青森市で開催された「AFB Fan Meeting 2025」にPRブースを出展しました。展示ブースには多くの来場者が訪れ、赤十字の活動内容に触れていただく貴重な機会となりました。パネル展示やパンフレット配布のほか、赤十字活動に関するクイズコーナーやAEDの体験コーナーなどを設置。来場者からは「知らなかった活動を知ることができた」「いざという時に頼りになる存在だと感じた」などの声が寄せられ、赤十字の活動を広く発信する場となりました。



○特集！未来を担う力 青少年赤十字の活動紹介

- ・福島県の青少年赤十字高校生メンバーと交流
- ・支部主催青少年赤十字高校リーダーシップ・トレーニング・センターを開催
- ・弘前高校JRC部 真夏のアイス販売

○青森県支部・管内施設は動いている！

- ・第1ブロック支部合同災害救護訓練に参加
- ・秋田県支部主催奉仕団リーダーシップ研修会に参加
- ・大阪・関西万博 赤十字パビリオンにスタッフを派遣
- ・八戸赤十字病院の活動を紹介

○お知らせ！

- ・支部主催終活セミナー開催のご案内
- ・支部個人ボランティア募集
- ・赤十字防災セミナーのご案内

青森県支部からのお知らせ

令和7年度 赤十字会員増強・活動資金增收運動 実施中！
赤十字会員への加入、会費・寄付金へのご協力をお願いします。

青森県内の赤十字関連の情報を中心に発信していきます。
赤十字の輪を広げるために、皆さんフォローをお願いします！

<https://twitter.com/nissekiaomori>
<https://www.facebook.com/nissekiaomori>
https://www.instagram.com/nisseki_aomori/



▼X(旧Twitter)



▼Facebook



▼Instagram



【特集】“未来を担う力 青少年赤十字の活動紹介”



青森県と福島県の青少年赤十字メンバーが交流会を開催

～福島県青少年赤十字高校生メンバーと交流を深めました～

10月17日・18日の2日間、福島県の青少年赤十字高校生メンバーが青森県を訪れ、本県の高校生メンバーと交流しました。

1日目は、弘前市を訪れた福島県メンバーと中弘南黒地区の青少年赤十字メンバーとの交流会を開催。両県のメンバーがそれぞれ活動紹介や県の魅力を発表するなどし、限られた時間ながら親睦を深めました。

2日目は、つがる市の木造高校を会場に開催された「青森県高等学校総合文化祭青少年赤十字部門大会」に参加。福島県メンバーは救急法コンクールや体験発表を見学したほか、壁新聞コンテストに持参した壁新聞と献血紹介ポスターを出展し、内容発表も行いました。その積極的な姿勢は、青森県メンバーにも良い刺激となりました。

今回の交流を通じて、青森県と福島県のメンバーの絆が深まり、お互いの県をつなぐ貴重な機会となりました。今後もこうした交流を続け、青少年赤十字活動のさらなる盛り上がりにつなげていきます。



「国際」をテーマに学びと交流を深める

～日本赤十字社青森県支部主催

「青少年赤十字高校リーダーシップ・トレーニング・センター」開催～

7月30日～8月1日の3日間、青森県立梵珠少年自然の家にて「青少年赤十字高校リーダーシップ・トレーニング・センター」を開催しました。

今回のテーマは「国際」。研修では、戦争時のルールを学ぶ「国際人道法」に関する講話や、国際問題を疑似体験する「レイドクロス」などを実施し、参加者は人道支援の考え方や平和の大切さについて考えました。

研修2日目は、金木町赤十字奉仕団と協力し、炊飯袋を使った炊き出し訓練でカレーを作り、災害時の対応を学びました。

最終日は3日間の学びを振り返り、今後の学校での活動を考えるワークショップを実施。ワールドカフェ形式で意見を出し合い、活動への意欲を高めました。

共同生活を通じて他校のメンバーとの交流も深まり、充実した研修となりました。



暑さに負けず、優しさを届けて

～弘前高校JRC部、真夏のアイス販売～

青森県立弘前高等学校JRC部では、青少年赤十字の実践目標「奉仕」の精神を大切に活動しています。今回紹介するのは、毎年7月の「弘高祭」準備期間中に恒例のアイス販売です。暑さの中で頑張る仲間にひとときの癒しを届けることを目的に、放課後に実施しています。

販売前にはポスターを制作し校内に掲示。アイスは市内専門店から仕入れ、6種類を用意しました。仕入れ値に10円を上乗せして販売し、利益はすべて能登半島地震災害義援金へ寄付。今年は特に暑かったこともあり、6日間で約1,400本を売り上げました。生徒だけでなく先生方にも好評で、たくさんの笑顔が生まれました。

弘前高校JRC部は、今後も身近な奉仕を考え、優しさを届ける活動を続けていきます。



第1ブロック支部合同災害救護訓練へ参加！

10月10日・11日の2日間、秋田県内で「第1ブロック支部合同災害救護訓練」を開催。青森県支部からは八戸赤十字病院の職員で編成した救護班1班、災害医療コーディネーターの医師1名、支部職員が参加しました。

訓練1日目は、講義とブリーフィングを実施し、避難所アセスメントやゾーニングをテーマにグループワークを行いました。

2日目は、実動訓練を実施し、避難所対応や巡回診療、トリアージなどを行いました。災害発生を想定したシナリオのもと、参加者は役割分担を確認しながら、被災者情報の収集や、プライバシーに配慮したスペースの確保など、細部にわたる対応を学びました。また、トリアージ訓練では、負傷者役のボランティアを前に、迅速かつ正確な判断が求められ、緊張感のある場面が続きました。

今回の訓練を通じて、災害時における赤十字の役割と、地域との連携の重要性を再確認する機会となりました。

訓練終了後には、秋田県赤十字奉仕団による炊き出しで「きりたんぽ鍋」が振る舞われました。参加者は「全國に支部がある強みを実感した」「避難者への配慮の重要性を学んだ」と振り返りました。



秋田県支部主催奉仕団リーダーシップ研修会に参加

10月21日・22日、秋田県支部主催の「奉仕団リーダーシップ研修会」が開催され、秋田・岩手・青森の3県から74名が参加。本県からは6名が参加しました。



1日目の研修では「オーラルフレイルとその予防」に関する講演や、3県の代表による活動発表を実施。青森県支部からは東北町赤十字奉仕団が「介護用マフ」作成の取り組みを紹介し、参加者から高い関心が寄せられました。夕食交流会では活動の工夫や地域の特色を語り合い、親睦を深めました。

2日目は「社会活動」と「防災・減災」をテーマにグループディスカッションを行い、フレイル予防や地域防災の課題、他団体との連携の重要性を確認しました。

最後に秋田県芸能奉仕団の演芸で会場は笑顔に包まれ、参加者からは「新たな発想が生まれた」「地域活動を見直すきっかけになった」との声が寄せられました。

“青森県支部：管内施設”は動いてる！

地域の子どもたちに医療の魅力を発信

～八戸赤十字病院の活動～

9月26日、八戸赤十字病院はヴァンラーレ八戸主催の「School Trip Day」に参加しました。



本イベントは県南地域の小中学生を対象に、職業体験を通じて将来の夢や興味を広げることを目的としています。当院は医療の魅力を伝えるため、イベントブースの出展と救護所の運営を行いました。



ブースでは約300名の子どもたちに、心臓マッサージ、松葉杖や車椅子の体験、聴診器で心音を聞く体験などを提供。子どもたちは医療器具に興味を示し、スタッフの説明を聞きながら真剣に取り組んでいました。また、会場には救護所を設置し、医師1名・看護師3名が常駐して体調不良やけがに対応。来場者が安心してイベントを楽しめるよう万全の体制を整えました。

今後も当院は、医療を通じた社会貢献に努めてまいります。

2025年大阪・関西万博

赤十字パビリオン運営スタッフに支部職員を派遣しました

2025年大阪・関西万博。赤十字では「国際赤十字・赤新月運動館」としてパビリオンを出展。

青森県支部からは、期間中に赤十字パビリオンの運営スタッフとして3名の職員を派遣しました。

赤十字パビリオンのコンセプトは「わたしの“できる”は、誰かのためになる」。パビリオン内では、ガザ地区の戦争対応に従事している職員の映像や、東日本大震災、阪神淡路大震災を経験した職員の映像が流れたり、感動して涙を流される方も見受けられ、赤十字活動の意義や発信力を再認識する機会となりました。

来場者の中には、「自分の子供が赤十字病院にお世話になった」「献血のおかげで命が助かった」という方もいて、赤十字に対する感謝の声を直接聞くことができました。

今回の経験を今後の業務にも活かし、赤十字の活動をさらに広めていきます。



【Pick Up】青森県支部からのお知らせ



「終活・社会貢献セミナー」を開催いたします。

○プログラム

第1部「赤十字活動について」 講師：日本赤十字社青森県支部

第2部「相続・遺言講座」 講師：青森県司法書士会

第3部「個別相談会」

青森県司法書士会による遺言・相続相談（希望者のみ、要事前申込み）

○日程等

1/18（日）八戸プラザホテル本館2階「桜の間」 40名（申込順）

タイムテーブル

・13:00～15:00 セミナー（第1部、第2部）※ケーキセットを提供します

・15:00～17:00 個別相談会（第3部）※希望者のみ、事前申込制



○申込み方法

二次元コードからの申込み、または、日本赤十字社青森県支部（017-722-2011）へ
申込み締め切りは12/26（金）まで



「ちょこボラ」募集中！当支部で個人ボランティア活動を始めてみませんか？

日赤青森県支部では、ただ今、個人ボランティアを募集しています。ご興味のある方は、詳細に関して当支部ホームページに募集要項を掲載していますので、そちらをご覧いただき、当支部総務課（Tel 017-722-2011）まで直接お問い合わせください。



「赤十字防災セミナー」のご案内 ～いつ起こるか分からない災害に日頃から備えておきたい～

地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることで、地域の住民の方々が自ら、災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的に当支部では「赤十字防災セミナー」を開催しています。

なお、時間・内容等はニーズに応じて調整して実施いたしますので、先ずはお問い合わせください。

（担当：事業推進課 Tel 017-722-2011）



献血にご協力くださる皆さんへ

献血ルーム受付時間

青森献血ルーム

- 成分献血／9:15～11:50、13:45～16:20
- 全血献血(400・200ml)／9:15～12:45、13:45～17:00
- 定休日／12月31日、1月1日、毎週火曜日(令和4年10月より)

弘前献血ルームCoCoSA

- 成分献血／9:30～11:50、13:45～16:20
- 全血献血(400・200ml)／9:30～12:30、13:45～17:00
- 定休日／12月31日、1月1日

- 青森献血ルーム フリーダイヤル 0120-649-489 青森市長島1丁目3番1号 日赤ビル4階
- 弘前献血ルーム「CoCoSA(ココサ)」 フリーダイヤル 0120-768-489 弘前市駅前町8-1 大町タウンビル2階
- 青森県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>

